

議会報告 市民の声を市政にとどける てくテク くらしげ政樹



議会控室(025-226-3450) 事務所:秋葉区田家2-2-19 (TEL・FAX0250-22-1393)



日本共産党第27回大会に新潟県からの代議員として参加しました。「野党と市民の共同こそが政治を変える道」との方針を決定しました。民進党(当時)、自由党、社民党、沖縄の風の代表が来賓あいさつ。他党の代表が大会に来て、あいさつをしたのは初めてでした。

1月

米山知事に県予算に関して、子ども医療費助成の交付金対象から除かれている新潟市への県補助を復活することを要望しました。(写真右端が私)



予算議会勉強会で学童クラブの時間延長、大規模クラブの分割など、施設・定員の適正化、支援員の待遇改善などを質問。時間延長や支援員の待遇改善に国がお金を出さずというのに、足を踏み出さない市の姿勢を批判。子育て世代の負担軽減を!

2月

3月

予算議会常任委員会で水と土の芸術祭の予算に市民の理解が得られていないとして反対を表明しました。また、非正規雇用が圧倒的多数である図書館司書を資格にふさわしい処遇として正規雇用への転換を要求するとともに、東特別支援学校が過密になっていると指摘し、分離新設を求めました。



6月議会の一般質問では種子法の廃止による市のコメ農業への影響について、「水と土の芸術祭2018」への市の負担の減額を要求しました。

6月

2017年の活動をふりかえりました
今年も市民の声を市政に届けるためがんばります

☞ 憲法違反の共謀罪法案廃止へ超党派議員が新潟駅南口で「コッカイオンドク」。言い出しっぱだったため、金田法相役に。TVで報道もされました。

8月



8月、生活保護問題議員研修会へ。

9月、次の衆院選に向け、新潟4区の市民と野党の意見交換会で党を代表して発言。まだ解散は決まっていませんでしたが、県内5野党（緑の党はメッセージ参加）と共闘の道を語り、市民と野党が統一して闘おうとアピール。



9月議会に続く10月の決算特別委員会では総括質疑に立ちました。平成28年度決算の歳入において、消費税増税と法人税減税の影響が市税収入に影響していると指摘。併せて市税の増収には市民所得の向上が不可欠であり、大型公共事業より、地域密着型の公共事業、道路橋梁の老朽化対策や維持補修を予算でしっかり位置づけ、地域にお金が回る仕組みが必要と主張しました。また土木費の割合は政令市トップ、民生費（社会保障費）の割合が政令市でとうとう最下位となったのは、市民の命とくらしを守る姿勢がないからだと批判しました。

9月

10月



安倍首相が加計・森友疑惑隠し解散に打って出て、希望の党が市民と野党の分断を図り、結党されるなど、複雑な情勢のもと、新潟4区は菊田まきこ氏を野党と市民の統一候補として擁立し、憲法破壊の諸法案に賛成ばかりの自民党候補を追い落とし、憲法を守る議席を勝ち取りました。議会中の選挙となり大変でした。写真は菊田まきこ国政報告会にて。



12月議会の一般質問では国が来年度からコメの生産調整における直接支払交付金を廃止することによる影響を質問。昨年度なみならば新潟市のコメ農家に支払われた10億円が来なくなり、農家ばかりでなく、市税収入にも、さらに地域経済にも打撃を与えると指摘。国に対して強かに復活を求めるべきと主張。一方、市は独自に機械買い替えの補助金創設など、家族農業への支援や、環境や景観を維持している農業の持つ多面的な役割をしっかりと評価する農業施策が必要と提案しました。次に、119億円の財源不足が大きく報道されるなか、「水と土の芸術祭2018」への市の負担を減らすべきだと主張し、最後は利用者から改善の声が出ていた荻川駅東口の駐輪場の整備を求め、市はJRと協議の最中とはしながらも、暫定的な整備をすると答弁しました。（12月議会質問詳細は次号）

12月



生活相談をご希望の方は、ご連絡ください。携帯(090—2479—5094)
毎月第3土曜:午前10時~12時 くらしげ政樹事務所(秋葉区田家2-2-19)
※事前にお電話をお願いします。事務所でお話を伺います。相談は無料です。